

平成 2 8 年度 事業報告書

(平成 2 8 年 4 月 1 日から平成 2 9 年 3 月 3 1 日まで)

目 次

P1～P3		法人の概要
P4～P5		事業の概要
P6～P10		湊川短期大学事業報告
P11		三田松聖高等学校事業報告
P12		湊川短期大学附属西舞子幼稚園事業報告
P13		湊川短期大学附属神陵台幼稚園事業報告
P14		湊川短期大学附属北摂第一幼稚園事業報告
P15		湊川短期大学附属北摂中央幼稚園事業報告
P16		湊川短期大学附属北摂学園幼稚園事業報告
P17		湊川短期大学附属キッズポート保育園事業報告
P18		財務の概要
P19		平成28年度財務報告
P20～P21		過去三ヵ年の財務推移表
P22～P24		平成28年度決算報告グラフ他分析資料

学校法人 湊川相野学園

学校法人湊川相野学園 平成28年度 事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

1 法人の概要

1 建学の精神

本学園の教育は、校祖、幸田たま女史の何事にもくじけぬ不撓不屈の湊川精神と、誠を持って貫き通す強い意志の力とを基本とする。

平和を尊び、高い特性と、健全な身体を備え、新時代を即応できる知性や技術を身につけた、有為な社会人を育成する。

2 学園教育目標

・ 創意創造の精神

日々新たにまた日に新たなる意欲をもとに、科学心を啓培し

・ 誠実不壊の信念

和敬協調、自律自修の信念をもって、挙措清楚に意志凜然と

・ 全人的人格形成

高邁なる英知、豊かな情操を涵養して、心身を琢磨し、清く正しく強い、時代に適応できる有為な社会人を育成したい。

3 設置する短期大学・高等学校・幼稚園・保育園の名称及び所在地

(1) 湊川短期大学

(人間生活学科・専攻科健康教育専攻・幼児教育保育学科・専攻科幼児教育専攻)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(2) 三田松聖高等学校(普通科・特進コース・総合コース)

〒669-1342 兵庫県三田市四ツ辻1430

(3) 湊川短期大学附属西舞子幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒655-0043 兵庫県神戸市垂水区南多聞台5丁目8-1

(4) 湊川短期大学附属神陵台幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒655-0041 兵庫県神戸市垂水区神陵台5丁目8-6

(5) 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成23年4月1日認可

〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘4丁目10番

(6) 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

(7) 湊川短期大学附属北摂学園幼稚園(幼稚園型認定こども園)平成27年4月1日認可

〒669-1337 兵庫県三田市学園7丁目1-3

(8) 湊川短期大学附属キッズポート保育園

〒669-1322 兵庫県三田市すずかけ台2丁目16番

4 役員・評議員の概要

【役員】

理 事	理 事 長	浅 井 祐 子	監 事	監 事	下山隆一郎
	常務理事	山野上素充		監 事	木 寅 文 雄
	常任理事	堀 忍			(2名)
	常任理事	末 本 誠			
	常任理事	則 木 豊 丈			
	常任理事	原口富美子			
	理 事	大 前 衛			
	理 事	柳 田 昌 三			
	理 事	小 室 烈 生			
	理 事	高 尾 裕 子			
		(10名)			

【評議員】

評議員	評 議 員	浅 井 祐 子	評 議 員	大 前 衛
	評 議 員	堀 忍	評 議 員	武田俊昭
	評 議 員	末 本 誠	評 議 員	川崎宏紀
	評 議 員	則 木 豊 丈	評 議 員	藤 原 智
	評 議 員	大前成美	評 議 員	藤本まり子
	評 議 員	濱田康助	評 議 員	西川智子
	評 議 員	大前通代	評 議 員	今端幸雄
	評 議 員	原口富美子	評 議 員	柳 田 昌 三
	評 議 員	中 井 重 樹	評 議 員	田 仲 正 之
	評 議 員	馬 越 美 佳	評 議 員	高 尾 裕 子
	評 議 員	大西則夫	評 議 員	山野上素充
	評 議 員	藪田榮男	評 議 員	古林伊津子
			評 議 員	小 室 烈 生

(25名)

5 設置する学科等の名称及び募集定員と学生・生徒・園児、教職員数

(1) 湊川短期大学

(単位：人)

湊川短期大学	募集定員	収容定員	学生数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
人 間 生 活 学 科	80	160	122	13	26	9	2
幼児教育保育学科	100	200	196	12	22	10	6
専攻科健康教育専攻	10	20	14				
専攻科幼児教育専攻	20	40	11				
合 計	210	420	343	25	48	19	8

(2) 三田松聖高等学校

(単位：人)

三田松聖高等学校	募集定員	学則定員	生徒数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
特 進 コ ー ス			79				
総 合 コ ー ス			1095				
合 計	210	270	1169	59	7	8	4

(3) 湊川短期大学附属幼稚園

(単位：人)

	募集定員	認可定員	園児数	教 員 数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
西 舞 子 幼 稚 園	70		187	13	10	0	3
神 陵 台 幼 稚 園	62		146	13	7	0	2
北 摂 第 一 幼 稚 園	110		218	14	11	1	3
北 摂 中 央 幼 稚 園	100		249	14	13	0	1
北 摂 学 園 幼 稚 園	85		133	10	12	0	1
合 計	427		933	64	53	1	10

(4) 湊川短期大学附属保育園

(単位：人)

	募集定員	収容定員	園児数	保育士数		職 員 数	
				専任	非常勤	専任	非常勤
キッズポート保育園	15	70	79	14	8	2	7
合 計	15	70	79	14	8	2	7

※ 学生・生徒・園児・教職員数2016年(平成28年5月1日現在)

2

事業の概要

(1) 平成28年度の主な事業

(法人)

新棟法人事務局エリア分	143,303,503	(株)熊谷組関西支店
新棟電話配線工事・既存棟への幹線ケーブル工事	3,736,800	ミキ通設(株)
ぼるとこども園開設関係備品	3,331,774	(株)ジャクエツ他
ぼるとこども園新設改修工事	15,984,000	(株)神戸営繕

(短大)

キャンパス整備第2期工事(新棟)	938,891,487	(株)熊谷組関西支店
キャンパス整備第2期工事(新棟)	75,197,200	(株)安井建築設計事務所
キャンパス整備第2期工事(新棟)	15,193,440	ミキ通設(株)
キャンパス整備第2期工事(水道引込工事)	6,804,000	(株)熊谷組関西支店
キャンパス整備第2期工事(高圧引込・幹線敷設)	13,905,000	(株)熊谷組関西支店
NEC券売機BT-L252	1,020,600	(株)エルコム
坂本モデル人体解剖模型	1,544,400	宮野医療器(株)
OA教室パソコン他備品一式	9,991,404	(株)電翔
エッペンドルフ冷却遠心機 他実験器具	9,498,816	和研薬(株)
学生会館お茶室漏水補修工事	756,000	山陽建材工事(株)
自動火災報知設備改修工事	783,000	三住管財(株)
学生会館給水圧力ポンプ設置工事	1,627,000	(有)なべい設備商会
楠木寮管理人室漏水補修工事	496,800	山陽建材工事(株)
学生会館・食堂ホールLED化工事	2,660,000	(有)花崎電気工事

(高校)

グラウンド用地購入 三田市四ツ辻西野々	50,000,000	社福)枚方療育園
グラウンド用地購入 三田市四ツ辻1408-1410	83,824,000	(株)ナカキン
グラウンド用地購入 三田市四ツ辻1411-3.4	3,356,400	丹波立杭陶磁器協同組合
グラウンド用地購入 三田市四ツ辻1411-3.4 分筆	825,625	前中行政書士
テニスコート改修工事	19,440,000	前田道路(株)関西支店
電子黒板	17,389,512	(株)ナニワ計算センター
触れる地球儀	5,292,000	東京サラヤ(株)
アオヤマハープ	2,276,748	森岡楽器
軽トラック	1,128,000	総合整備工場向山センター
記念体育館トイレクリーンドライ設置	648,000	三日月建設(株)
体育館水銀灯LED化工事	2,500,000	(有)花崎電気工事
体育館LEDライト	1,360,800	アイリスチトセ(株)
照明器具LED化工事	16,000,000	(有)花崎電気工事
テニスコート人工芝張替	1,300,000	前田道路(株)関西支店
視聴覚教室改修工事	9,180,000	三日月建設(株)
総合グラウンド汚水槽入替工事	939,000	(有)なべい設備商会
記念体育館舞台照明LED化	850,000	(有)花崎電気工事

(西舞子幼稚園)

アルミやぐらステージ手すり付	799,200	チャイルド社(株)
総合遊具トムソーヤ	4,010,040	チャイルド社(株)

(神陵台幼稚園)

セキュリティロック・防犯カメラ一式	1,296,000	セコム(株)
和太鼓5個	554,580	フジワラ楽器
エプソン大判プリンタSC-T5250	354,240	(株)ジャパンニューハン
幼稚園正門改修工事	1,108,631	(株)ライフライン
渡り階段テント張替	972,000	但南建設(株)

(北摂第一幼稚園)

ワンタッチプール	172,000	(株)ジャクエツ
総合遊具メンテナンス	1,075,680	(有)神戸学習社
遊戯室天井耐震工事	10,368,000	但南建設(株)

(北摂中央幼稚園)

食器消毒保管庫HSB-4SA	648,000	ホシザキ阪神(株)
冷凍冷蔵庫HRF-120ZFT	399,600	ホシザキ阪神(株)
パソコン6台PC-VK20LFWL4SZN	605,880	NECフィールディング(株)
2階廊下張替	1,944,000	(株)ジャクエツ神戸店

(北摂学園幼稚園)

羊のフェンス製作	172,800	(株)伸晃商事
キク組用ピアノ	669,600	神戸楽器商会
保育室エアコン設置	1,389,960	(有)花崎電気工事
キャリングアンプ	320,000	(株)ジャクエツ神戸店
2階保育室トイレ改修工事	918,000	但南建設(株)
駐車場砕石敷均し工事	756,000	但南建設(株)

(キッズポート保育園)

防犯カメラシステム	648,000	総合警備保障
調理室冷蔵庫	388,800	ホシザキ阪神(株)

2016 年度 湊川短期大学事業報告

1. 短大運営

2016年度には末本が新学長に就任したことにもない、大幅な組織改編を実施した。まず、従来の運営協議会を改組し、メンバー数を厳選した運営会議をつくり大学運営の基幹組織とした。また常設委員会に将来計画委員会、ハラスメント防止委員会、キャリア教育委員会、地域連携委員会を新たに設置し、キャリア教育センターと地域連携センターを新たに発足させた。あわせて、従来からの教育実践相談研究センターを廃止し、学生相談センターを開設した。さらに小集団による効率的な議論と、戦略的な解決策の提示ができるようワーキンググループ方式の運営を開始した（新コース・publicity・改組情報収集）。

教育の質の充実を図るために、湊川短期大学の教育理念にかかわる基本文章の改定を行った。短大の教職員全員に「育てたい学生の資質」に関するアンケート調査を実施し、その結果を基に湊川短期大学の指針と教育目標を新たに決定し、3つのポリシーの見直しと各学科専攻の教育目標、期待される成果の改定をした。

従来は、取得した国家資格を使った就職が主であった学生の進路および短大教育の幅を広げるために、必ずしも国家資格を取らずに地元地域の企業や団体に就職することを目指す、「キャリア創造コース」の開設を準備し次年度から運用を始めることにした。

2. 学生の動向

2016年度の学生の動向は、卒業生が134名（人間生活学科48名：人間健康専攻36名・生活福祉専攻12名、幼児教育保育学科86名）、専攻科は10名（健康7名、幼児教育3名）であった。入学者は175名（人間生活学科67名：人間健康専攻46名・生活福祉専攻21名、幼児教育保育学科108名）、専攻科は14名（健康7名、幼児教育7名）であった。また就職者は、全体で115名（人間生活学科40名：人間健康専攻28名・生活福祉専攻12名、幼児教育保育学科75名）であり、専攻科は10名（健康7名、幼児教育3名）であった。専攻科を除いた就職率は、全体で97%（人間生活学科98%：人間健康専攻97%・生活福祉専攻100%、幼児教育保育学科97%）である。専攻科は100%（健康教育100%、幼児教育100%）である。

3. 学生教育

① 教務委員会

総合教育科目の関連科目および専門科目を整理し、教養科目を含め共通教育科目と専門科目群に整理した。また、教務システムの円滑運用のため、年間の教務の事務作業の実施時期と内容を確認し、効率化、簡略化を検討し、各事務作業の実施時期を提示するという点の見直しを行った。

カリキュラムマップ・ツリーの見直しを行い、本学ホームページに掲載し直した。また、各学科専攻の教育目的目標に照らしシラバス確認を行った。

② 幼児教育保育学科

子育て支援センターと連携することで、社会貢献の姿勢を養い、実践的な経験を積める

ことが、本学科の特長のひとつになっている。「みなとっちひろば」のボランティアだけでなく、学生が意欲的に学内外のボランティアに参加する姿が多く見受けられる1年だった。尼崎人形劇フェスタへの参加や、子育てイベント「こそだてバル」に学生参加のブースを開催し短大として後援できたことは、この1年の新たな取り組みである。3回目となった「みな・とっち保育まるごとフェスタ」では、支援センター職員による催しや3研究室合同でのミュージカル実施といった新しい試みもあり、昨年度を上回る131名の参加があった。

7月には、昨年に引き続き、教育・保育職の進路について考えを深めるための「附属園の先生と語る会」を開催した。このような取り組みもあって、2016年度卒業生から4名が附属園に就職することができた。

③ 人間生活学科

両専攻共に、退学者を出さないように学生支援をきめ細やかに行い、資格取得を目指す学生の学習支援、就職・進学への指導・助言を行った。本年度の退学者は人間健康専攻6名（除籍1名）生活福祉専攻2名であった。実習要件GPA値によって実習科目の履修が不可となる学生は人間健康専攻7名、生活福祉専攻該当学生無しであった。

学生定員充足のために、パネル作成・展示、資格案内冊子作成・配布、新規訪問高校の開拓を行った。成果はまだ見られないが、次年度以降も今年度の取り組みを続け、さらに広報活動を行う。

i 人間健康専攻

人間健康専攻は3つのコースを設置しているが、それぞれのコースに所属する学生がお互いに交流し、学修を深められるよう、チューターやゼミ担当指導教員が配慮しながら指導を行った。

養護教諭コースは、19名が養護教諭2種免許を取得した。教員採用選考試験特別講座などを実施する中、正規採用養護教諭、講師（養護教諭）等5名が学校園に就職した。他に3名は養護教諭としての知識や能力を高めるため専攻科に進学した。医療秘書事務コンピュータコースは、各種資格試験対策講座を実施し、医療管理秘書士の合格者30名、レセプト点検実務士3級合格者30名（共に合格率100%）を中心に、多くの資格を取得し、ほぼ全員が、医療事務、医療秘書関係の就職を果たした。食育健康コースは、他コース併修学生であり、食育インストラクター等の資格を取得し、養護教諭関係や医療関係を中心とする就職をした。その他、養護教諭コースは、公立学校のスクールサポーターなどのボランティアや神戸市教育委員会のボランティア、医療秘書事務コンピュータコースを中心に、宝塚市立市民病院のボランティアに参加するなど、地域の活動に積極的に参加した。

ii 生活福祉専攻

「丹波介護支援サポーター養成事業」学生、卒業生で訪問指導を行った。それを機に高校や病院関係から講座の依頼があり、具体的に進めている。「三田市総合福祉センター」と連携ボランティアに多数参加。収益技業の案を出し合い検討を重ねた結果「喀痰吸引研修」を実施する方向で始動している。次年度から開始する国家試験受験に向けて高い合格率を目指して、日頃からの丁寧な授業と対策講座を充実させていく必要がある。

④ 専攻科

専攻科は、健康教育専攻、幼児教育専攻共に、学位授与機構による特例学位授与制度の適用を受け2年目となった。平成28年度は、健康教育専攻2年生7名、1年生7名、幼児教育専攻2年生4名、1年生7名が在籍した。健康教育専攻修了生は養護教諭1種免許状・カウンセリング実務士、幼児教育専攻修了生は、幼稚園教諭1種免許状・カウンセリング実務士を取得し、両専攻共に、学士（教育学）を取得した。健康教育専攻修了生は正規養護教諭や講師（養護教諭）へ就職し、幼児教育専攻修了生は、こども園等へ就職した。幼児教育専攻修了生1名は、こども園の管理職となり、教育現場へ復帰した。

また、健康教育専攻在籍学生は、公立小学校の「自然学校」の救護員やスクールサポーターとして活躍した。幼児教育専攻学生は、「三田家族の日」の啓発活動の一環として市内3か所のイベントで活動し、絵本ボランティアに参加するなど、実践的活動を積極的にを行い、学修を深めた。

4. 各種センター

① キャリア教育センター

2016年度4月にキャリア教育センターを立ち上げた。従来の「進路指導」機能に加え、「学生が大人に育つよう支援する」ことをゴールに掲げ、教員によるみなとがわキャリア教育セミナーを開催するなど、学生のコミュニケーション能力の向上を目指し支援を進めた。

1年生対象正課科目「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」は、主に前年度から準備されていたものを踏襲する形で進めた。卒業生とのパネルディスカッションや、静岡大学教育学部准教授鎌塚優子氏を招いて講演を実施し、学生時代のみならず、社会に出てからも学ぶ姿勢が大切であることを教示した。

2年生に対して、「履歴書の書方・自己紹介セミナー」を実施し、さまざまな場面で発揮することができる『対応力』を実践した。また、卒業生へのフォローとして、大学祭開催日程に合わせ「ホームカミングデー」の開催および、キャリア教育センターからのメール配信を実施した。

キャリア教育は、全教職員が担当するものであることをFDの場を通して協力依頼した。後期からは、2017年度以降の「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」のクラス運営設計を始め、「湊川短期大学 キャリア教育元年」の準備を行った。就職率を97%とし、従前の就職実績を維持している。

② 地域連携センター

2016年度に設置された地域連携センターは、三田市との包括連携協定を初めとする地域連携、地域貢献授業（湊川のあゆみⅡ）、公開講座（市民大学）を業務の中心として、活動を開始した。地域貢献活動への学生参加支援も地域連携センターの業務中での大きな位置を占めることとなった。

三田市との連携では、事務連絡フローを確立し11月には第一回の三田市との連絡協議会を開催できた。また、こうみん未来塾や学生サミットへの学生参加など、多くの新規活動に取り組んだ。地域貢献授業は概ね支障なく遂行できた。市民大学では、従来よりも短大教員が多くの講座を担当するなど、新たな方針の下で開催することができた。地域貢献活

動への学生参加支援としては、さとのね七夕フェスティバルやあいの商工感謝祭などへのボランティア参加を橋渡しすることができた。

③ 学生相談センター

健康状態を害し講義を欠席する学生や精神的に不安定になり学習に取り組めない学生に対して、学生相談センターと教員が連携して支援を行って行くために、学生の理解及び対応の姿勢への知識を得るためにFD研修を行った。

学生に学生相談室の存在、活用方法が十分周知されておらず、利用率が低いので、「カラコ通信」を通して広報した。また、寮生対象に4月に茶話会を開き、カウンセラーと出会う機会を設けた。学生が相談しやすくなるよう、学生相談室の環境を改善するために、平成29年度改装工事予定である。

身体的健康状態を把握するアンケートを引き続き実施し、平成29年度から精神的健康状態を把握するためアンケート実施予定である。障害を持つ学生への合理的配慮実施について準備を検討した。

5. 学生支援

① 学生部

熊本地震が発生し、学生からボランティアとして現地に入りたいという要望があり、学長裁量経費・三田市補助金・後援会補助などを受け、8/8～8/12の日程で学生10名が参加して教員2名の引率のもと、熊本県益城町で幼児の川遊び支援とがれき撤去などの活動をした。

② 学生支援委員会

食堂に食生活や栄養に関するPOPを設置。学生アンケートに対する回答を掲示し、対応可能なものについては対応をした。喫煙についてマナーを呼びかけるポスターを掲示。学友会の活動を支援し、寮生の生活についても必要な支援を行った。ルール違反があり、警察が寮まで学生を送り届ける事態があり、三田警察にお礼とお詫びを伝えた。

6. その他

① 自己点検・評価

平成27年度の自己点検・評価報告書をまとめ、愛知学泉短期大学との相互評価を実施。11/4に愛知学泉短期大学を訪問し、12/1に本学に愛知学泉短期大学から訪問を受け、自己点検・評価報告書に基づき、確認・質問・回答を行った。

② FD/SD委員会

昨年度からの毎月開催するという原則を引き継ぎ、今年度も教授会後にFD/SDを開いた。SDは教員を含む職員として理解し、実施した。FDでは短大の教育活動に関する事柄を扱った。取り上げたテーマは「発達障害とは」「ナラティブを用いた学生指導」「富山短期大学の教育改革」「湊川短期大学のキャリア教育」「ストレスへの対処」「ハラスメントについて」などである。

③ ハラスメント防止委員会

学生、教職員が互いを認め民主主義を発展させるため、まずはハラスメント防止委員の運営を始動させること。相談員の配置と広報の方法決定と実施する。「事故発生時のフローチャート」「相談の役割と技法」「調査委員会の役割と技法」「相談シート」「掲示用ポスター」相談員の配置と役割や技法について伝達する。FD/SD 研修を行った。

学内にポスターの掲示や次年度の学生便覧に掲載したことで、委員会や相談員の存在を広報できた。

④ 高大連携委員会

高大連携委員会では高校生を対象とした短期大学教育の提供を行ってきた。主たる人材育成領域である幼児教育・保育、介護福祉、養護教諭に関する大学教育の一部を高校生に提供し、高校生の人生選択における職業選択や進学に関する選択を支援する。

⑤ 図書館

従来の図書館業務に加え、本年度の活動として特筆すべき点として以下のことがあげられる。同窓会、学園本部の協力のもと、記念会館4階を借り受けて書庫とし、3階に協働閲覧スペース、郷土資料室を学生出身地郷土資料スペースとして改装を行うこと。

図書館業務に精通している非常勤職員の採用により、児童書のレファレンスの強化、従来からの懸案であった分類ラベルの貼り直しなどの図書の修理ができたことである。

平成28年度 学校教育目標
「生徒が生き生き・伸び伸びと活動する学校」

I. 生徒募集状況

① 共学後の志願者・入学者・生徒数の推移

平成27年度入試から実施された公立高校の学区再編(16→5学区)が2年目となり、それが本校にどう影響するか心配されたが、実際は志願者も入学者も大幅に増えることとなった。その原因としては、受験生の新制度への対応がまだ不安定のまま推移しているのではないかと考えている。今後受験生の動向は注視するが、それ以上に「魅力ある学校づくり」に専念し、募集活動にもより一層努力したい。

()は男子数

(毎年5月1日現在)

年度	募集定員	志願者数	入学者数	全生徒数	1年	2年	3年
H26年度	210	2,078(1,168)	392(269)	1,048(673)	391	353	304
H27年度	210	2,302(1,265)	409(265)	1,108(722)	410	363	335
H28年度	210	2,447(1,351)	431(294)	1,169(791)	431	397	341

② 特別進学コースと総合コースの生徒数・クラス数の推移

平成15年から「特別進学コース」と「総合コース」を設置。

(毎年5月1日現在)

年度	特進コース	クラス数	総合コース	クラス数	クラス数計
H26年度	77	3	971	24	27
H27年度	75	3	1,033	25	28
H28年度	79	3	1,090	27	30

II. 進路実績と部活動の成果

進路実績や部活動の成果は、教育環境や生徒の生活実態などと共に、学校評価に直接大きな影響を与えるものと考えている。課題も多いが、地道にこつこつと取り組んでいきたい。

<進路実績>

- ・4年制大学: 121名(35.7%)
- ・就職: 67名(19.8%)
- ・短期大学: 34名(10.0%)
- ・進学未定: 35名(10.3%)
- ・専門学校: 82名(24.2%)

<部活動の主な結果>

- ・硬式野球部: 全国選手権県大会「ベスト16」、秋季県大会「ベスト16」
全国選抜大会の「21世紀枠・兵庫県推薦校」に選ばれる。
- ・男子バスケットボール部: 県総体「第7位」、近畿大会「ベスト16」、県新人戦「第5位」
- ・陸上競技部: 男子駅伝県大会・初出場「第35位」(2時間23分32秒)
永田悠人(近畿ユース大会・砲丸投げ「第8位」12m27)
- ・少林寺拳法部: 西山俊佑・佐竹真衣(近畿大会出場・単独演武)
- ・洋弓部: 小島瑞月(県総体・70m W「第6位」)／近畿大会「ベスト16」／県総体・女子団体「第3位」

III. 平成28年度の主な行事

- 4月8日 第66回入学式
- 6月10日,11日 松聖祭(文化の部)
- 6月14日 松聖祭(体育の部)
- 8月2日,23日 学校見学会(中学生見学者:計663名)
- 8月20日,21日 第11回兵庫私立中学・高等学校展(合同説明会)クラウンパレス神戸
- 1月15日～20日 2年生・ハワイへの修学旅行(第12回目)
- 2月10日 平成29年度入学試験(志願者:2,392名)
- 2月24日 第64回卒業式

湊川短期大学附属西舞子幼稚園 平成28年度事業報告

(1) 在籍状況(認可定員220人 利用定員200名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	8	8	9	9	9	10	10	10	9	9	9	9	109
満3歳児	0	0	2	2	2	4	6	8	10	11	14	14	73
3歳児	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	708
4歳児	60	60	60	60	60	59	59	60	61	61	61	61	722
5歳児	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720
計	187	187	190	190	190	192	194	197	199	200	203	203	2332

※認定こども園二年目の運営も、学園や保護者、地域のお力添えで安定し、園特色を理解、支持されての入園希望者も増え、昨年度以上の数を確保できた。収支上昇に安堵しつつも、今後も利用定員数(1.2.3号の人数)の安定に努める。

(2) 運営・経営状況

・新規採用教諭5名の配置により、園行事や保育活動を基本から見直し、共通理解して園活動を実践する良い機会となった。二年目、三年目の教諭も今ある力を出し切って頑張ってくれ、乗り越えられたと感じる。もう少し帰宅を早める努力をしていくことが課題

(3) 怪我・事故

・園児の病院での診断、治療は、外科2、整形外科5、歯科9、口腔外科1だった。健康状態に配慮を要する園児は、今年度も、癲癇、発熱初期の熱性痙攣、重度の食物アレルギーなど多く、ダイナップ、エピペン等の薬剤を園で預かった。また、心臓病の園児が人工大動脈弁移植の手術を受ける等、絶えず緊張した中での一年だった。現段階で園ができる範疇での配慮を各保護者と話し合いを繰り返し、双方が納得した上で行った。今後も全教諭で一人一人の病状理解し合いながら、初期対応に各教諭が最善を尽くせるよう、スキルを高めていく。
・整備された園環境だが、想定外の危機環境を想定し、安全な避難確保の動線を考えた訓練を月一回実施し、「命を守る」力が大人も子どもも高まるように励んだ。

(4) 子育て支援事業

・ひよこルーム(預かり保育)AM7:00～19:00 長期休暇中も有り 1日平均約40～45人 各号により料金設定有
・つぼみ教室:月4回程度、登録14組。有料、満2歳以上未就園親子。親子体験遊び中心。園行事在園児交流
・すこやかひろば:月2回程度、満一歳以上未就園親子。随時登録可、地域友達との触れ合いの場とする。
・わくわくようちえん: 就学前幼児対象、年間48回、園にて年長児と共に幼児教育体験。本年度該当なし。

(5) 職員研修

・新任研修(年14回)・附属5園研修・子育てフォーラム・県、神私幼連盟研究会[グループ研修(2名)、一般研修(2名)、専門研修(2名)、主任研修、10年目研修(1名)、3月教育研修会にてグループ研修紙面報告]
・県私幼研究会子育て相談研修(2名)・私立幼稚園研修会・垂水区私立幼、保、小教員研修

(6) 購入・修繕等

- ・購入 アルミ製 やぐら
- ・修繕 園舎一階強化ガラス破損

(7) 異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウィーク(6月…明石市立中学校2校、10月…神戸市立中学校3校)
・実習生、学生ボランティア受け入れ・交通安全教室(垂水警察来園指導)
・「みんなまってるよ」就学前事業(5歳児西舞子小へ)
・神戸市私立幼稚園児交流『みんな あつまれ』パラバルーン演技参加
・プレ親体験交流学习(長坂中3年)

(8) 広報・社会活動

・園子育て支援活動PRボード作成掲示(区保健所担当窓口)・神幼研ホームページ園紹介内容の更新PR向上
・幼稚園ホームページの更新向上(各園共通化と各園の特色)と 各学年 ブログ更新(1～2週間ごと)
・県立舞子高校へ出前授業「これからの幼児教育」

(9) 園内研究(委員会)活動

・園内研究会(各学期ごと)の実施・子どもの発達に添った内容を軸にした話し合い
・年間通しての保育日誌に基づく保育内容指導と職員間の自由閲覧
・園長からの保育参考資料配布・市特別支援教育インクルーシブ教育相談員訪問指導(年5回実施)

湊川短期大学附属 神陵台 幼稚園 平成28年度事業報告

(1)在籍状況(認可定員 240名 ・ 利用定員 180名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	1	2	3	3	4	5	7	9	9	9	9	61
3歳児	46	46	46	47	47	49	48	48	48	48	48	48	569
4歳児	45	46	47	47	47	47	47	47	47	47	48	48	563
5歳児	54	54	54	53	53	54	54	54	54	54	54	54	646
計	145	147	149	150	150	154	154	156	158	158	159	159	1839

* 昨年度と比較して

・利用定員に対しての入園率は、昨年度は92.1%で、今年度が85.2%となっており、減少傾向にある。

(2)運営・経営状況

・新制度の幼稚園型認定こども園となり2年目、2号認定の枠が2月以降にならないと神戸市からの依頼人数がわからず、定員に満たない状況が続いている。27年度に復活させた満3歳児学級は継続して開設。

(3)怪我・事故

- ・病院で診断、治療を受けた回数(外科 3回、眼科 1回)
 - ・4月当初、年長組園児が上り棒で遊んでいて誤って落下し骨折、救急車を要請し病院に搬送する。
- ・保育室の床が傷んでいて、床をはい遊んでいた園児の脛に、木片が棘となって刺さり外科にかかって摘出。

(4)子育て支援事業

- ・私立幼稚園2歳児子育て応援事業(在宅2歳児対象) は実施、応募者が多く好評であった。
- ・みんなの幼稚園事業(未就園児対象、月2回程度)も幼児の体験を重視し参加者が多数。
- ・わくわく幼稚園の開設事業(在宅5歳児)を開設するが申し込みなし。

(5)職員研修

- ・新任研修 ・附属園公開保育参観研修 ・神戸市私立幼稚園専門研修
- ・私立幼稚園教員子育て支援研修(年間8回) ・人権教育研修

(6)購入・修繕等

- ・防犯カメラの設置及び来園者出入り口開錠の遠隔操作化 ・園舎外付け階段の雨除けテントの新調とスリッパ防止加工 ・東園舎内階段のステップ塗替えと壁面クラック修理 ・園正門の門扉の新調 ・全保育室床面を事故防止のためのクッションシート化

(7)異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク 2校 ・プレ親体験 2校 ・神陵台小学校で交流体験活動 ・実習生受け入れ

(8)広報・社会活動

- ・垂水区役所の子育て支援課のボードに、ふれあい広場の案内を貼り出す

(9)園内研究(委員会)活動

- ・園内保育研究 5～6月に全員実施。(1人数回実施)

認定こども園 湊川短期大学附属 北摂第一幼稚園 平成28年度事業報告

(1)在籍状況(認可定員 300名 利用定員 230名)

毎月1日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	6	6	7	9	10	10	10	9	9	9	9	9	103
満3歳児	0	3	3	4	3	8	11	14	15	16	16	16	109
3歳児	74	74	75	74	74	75	75	75	75	75	75	75	896
4歳児	60	60	60	61	61	62	62	62	62	62	62	62	736
5歳児	75	75	75	74	73	74	74	74	74	74	75	75	892
計	215	218	220	222	221	229	232	234	235	236	237	237	2736
入所率	71%	72%	73%	74%	73%	76%	77%	78%	78%	78%	79%	79%	

(2)運営・経営状況

- ・園児数については昨年度より少し増加したが、2歳児の入園は減少した。
- ・2号認定、特に保育標準時間が増えたことにより預かり保育の人数が増加した。
- ・今年度途中に給食の委託業者が変わり、味付け、メニューについてなど満足いかない点があったが、徐々に改善された。
- ・預かり保育の職員が年度途中に退職したため、負担が大きくなる時期もあったが中途からの採用により、少しずつ解消されたいった。
- ・しかし、免許更新講習の確認、徹底ができていなかった。

(3)怪我・事故

- ・病院での診断、治療を受けた回数は7回（歯科2回・外科4回・脳外科1回）
- ・保育室や階段などで転んでのけがが多くあった。
- ・2月に通園バスが赤信号で停車中に後ろから追突される事故がおきた。あつてはならないことであったが、園児、担当職員とも大きなけががなく胸をなでおろした事故であった。
- ・アレルギーのある園児に対して生クリームを提供して心配したが大事にはいかなかった。それを機会に職員でさらに共通理解をはかった。

(4)子育て支援事業

- ・すこやか広場(月に2回 園庭開放・職員と遊ぶ・教育相談)
- ・あいあいルーム(親子コース 月2～3回 ・ こどもコース 月3～4回)
※非常に人気があり人数も増えた。
- ・在園児の弟妹の一時預かり

(5)職員研修

- ・新任研修・附属6園研修・三同教・保幼小中連携研修・三田私立幼稚園研究部会・運動遊び
- ・特別支援教育研修 ・給食施設協議会

(6)購入・修繕等

- ・遊戯室が2月12日から3月12日まで耐震工事を行った。
- ・保育室の蛍光灯が古くなってきたため調子の悪くなった保育室から順次LEDへ変えていく予定。
- ・駐車場横の通用門の鍵が園児でも開けやすく、一人であけ、出ようとする園児もいるため新しい鍵を取りつけた。
- ・給食室、保健室の手洗い場にガス給湯器を設置。お湯が出ることで作業がしやすくなった。

(7)異年齢交流・連携事業活動

- ・トライやるウィーク(2校)・北摂三田高校体験保育・有馬高校インターンシップ受け入れ・教育実習受入
- ・人と自然の博物館との交流(5歳児)・武庫小学校との交流
- ・地域行事参加(5歳児有志)・武庫小校区まつり・コーラスの指導講師によるコンサートに参加(5, 4歳児有志)

(8)広報・社会活動

- ・保、幼、小連携に係るスタンダードカリキュラム

(9)園内研究(委員会)活動・卒業生と語る会出席・給食委員会

湊川短期大学附属北摂中央幼稚園 平成28年度事業報告

(1)在籍状況(認可定員305名 利用定員290名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	1	4	6	6	10	12	13	14	17	17	17	117
3歳児	65	65	65	65	65	65	64	64	65	65	65	65	778
4歳児	83	83	83	83	83	83	84	84	85	85	84	85	1005
5歳児	100	100	100	100	100	100	100	100	100	99	99	99	1197
計	248	249	252	254	254	258	260	261	264	266	265	266	3097

* 昨年度と比較して

・認定こども園2年目、前年度とほぼ同じ人数であった。クラス数は変更無し。特別支援児童が増え、担任の負担は増えたが、安定した人員環境が確保できたので保育運営に影響なくすめられた。

(2)運営・経営状況

・職員の異動が2名だったので、ほぼ昨年並み職員体制がとれ、スムーズな連携がとれた。一年を通して大きな問題もなく終えられた。保護者の会の活動も保護者のニーズを取り入れながら無理のない範囲での活動ができ、評価も高かった。幼稚園行事の進行も安定した年となった。

(3)怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数は8回
(外科・整形外科 3件 歯科 1件 眼科 4件)

(4)子育て支援事業

・昨年同様の子育て支援事業を行い、好評であった。親子分離の未就園児保育を希望される保護者が年々増加しているが、空き教室がないため、人数制限をせざるを得ない。園外保育や2時以降のすこやか、子育てステーションなどでできるだけ要望を叶えていきたい。

(5)職員研修

・新任研修、附属6園研修、三同教、県、市主催の研修、子育て支援研修ならびに夏期特別講座など多数参加した。保幼小中連携研修、特別支援研修、教員研修大会などにも大勢の職員が参加できた。特に園長を含め2名の職員と三田私立幼稚園主催の研究部会に一年を通して参加し、他の幼稚園と教育内容、保護者とのかわりについて討議できたことは大変よかった。

(6)異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウィーク2校受入れ、三田西陵、祥雲館高校との交流、すずかけ台小学校との交流を例年通り実施した。地域の大型店舗への絵の掲示、ウッディタウン市民センターでの絵の展示なども実施した。特にすずかけ台地区の敬老会や三田西陵高校のコンサートで合唱を披露し、貴重な体験の場になった。

(7)広報・社会活動

・すずかけカーニバルへの出展協力、掲示板による園行事、子育てフォーラムや子育て支援の掲載、笑顔ですくすくSUNだっこへの掲載等行った。

(8)園内研究(委員会)活動

・兵庫県、三田市教育委員会、子ども支援課等の教育相談やアドバイスを受け、気になる児童への対応を職員会議等で報告をした。湊川短大との研究会にも参加し、他園との情報交換等も行った。

湊川短期大学附属北摂学園幼稚園 平成28年度事業報告

(1) 在籍状況(認可定員145名 利用定員115名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
満3歳児	0	0	1	1	1	3	4	4	4	4	4	4	30
3歳児	39	39	39	38	38	38	39	39	39	39	39	39	465
4歳児	52	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	635
5歳児	41	41	41	41	41	41	42	42	42	42	42	42	498
計	132	133	134	133	133	135	138	138	138	138	138	138	1628
入所率	91%	92%	92%	92%	92%	93%	95%	95%	95%	95%	95%	95%	

* 昨年度と比較して

・入園率10月以降95%以上。

平成27年度3月129名 平成28年度3月138名

(2) 運営・経営状況

認定こども園になり2年が過ぎた。保護者の意識や理解も浸透し、教師も制度に慣れて来て1年通して順調な園経営ができた。特に教職員全員が心をつなげてよくまとまり、頑張ってくれた。保育での生き生きとした園児の様子や行事を通じてグングン伸びる子どもの成長過程を観て、保護者からの信頼が得られた。また、保護者の会も役員・委員が各部でよくまとまり、園経営に大きな支えと協力がいただけた。おかげさまで、園児の応募人数も増え、定員いっぱいまで伸びてきた。今後、益々地域に根の張った信頼される幼稚園になるよう、教職員力を合わせて頑張っていきたい。

(3) 怪我・事故

・病院で診断・治療を受けた回数7回(脳外科2回、外科3回、内科1)

(4) 子育て支援事業

- ・未就園児とその保護者のための「すこやかひろば」を開設、又園庭開放日を設け親子遊び体験、絵本の読み聞かせ等を行った。
- ・三田市子育てステーション事業
- ・兵庫県私立幼稚園2歳児応援事業
- ・兵庫県わくわくようちえん事業

(5) 職員研修

・附属6園合同研修・三同教・阪神同教・運動遊び講習会・特別支援研修・保幼小連携研修・教員研修大会

(6) 購入・修繕等

購入 2階保育室エアコン・アップライトピアノ・遊戯室音響アンプ
修繕 2階保育室トイレ水漏れ・1階エアコン修繕・スチームコンベクション

(7) 異年齢交流・連携事業活動

・トライやるウィーク・三田松聖高校実習農園借用・県立祥雲館高校体験保育・実習生受け入れ・関西学院大学よさこい連炎流との交流・湊川短大「湊川のあゆみ」・県立有馬高校生体験保育受け入れ・県立三田西陵高校保育体験等を実施した。

(8) 広報・社会活動

・こいのぼり防火訓練にて新聞掲載・県立祥雲館高校との交流新聞掲載・園飼育の羊の毛刈り新聞掲載・ウッディタウン市民センターまつり参加・学園地域まつり職員参加

(9) 園内研究(委員会)活動

・保育研究会議・保育室環境整備会議・特別支援に係る会議・安全対策委員会・感染症委員会・アレルギーについての会議

湊川短期大学附属キッズポート保育園 平成28年度事業報告

(1)在籍状況(認可定員70名 利用定員70名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	5	5	6	6	7	8	8	9	9	9	11	11	94
1歳児	11	11	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	152
2歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
3歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
4歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
5歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
計	79	79	82	82	83	84	84	85	85	85	87	87	1002
入所率	113%	113%	117%	117%	119%	120%	120%	121%	121%	121%	124%	124%	119%

※例年では年内(12月まで)に0歳児クラス入園予定者数(12人)になるが、昨年度は在園児の下の子が7名おり、休復帰時期に合わせて入園の受け入れを行った。

また、保育士の人数不足の為、11名の入園受け入れとなった。

(2)運営・経営状況

・開園から15年を経過し、急な修繕等が入ったものの、全体的には大きな変動はなく、例年通りの運営が行えた。

(3)怪我・事故

・病院で診断、治療を受けた回数は13件(歯科8件、形成外科3件、整形外科1件、小児科1件)いずれの怪我也完治済。

内、9件は病院での診察が1回のみで終了。※歯科は前件とも1回のみ。

(日本スポーツ振興センターに災害給付金申請は4件。)

(3)子育て支援事業

- ・三田市子育てステーション事業を毎月1回実施した。
- ・兵庫県委託事業の乳幼児応援事業は年48回行った。
- ・しょうがい児保育を継続し行った。

(3)職員研修

- ・附属園研修として公開保育を2日間実施した。
- ・新任研修、附属6園研修、三同教、睦保会研修(三田市内認可保育園所6園合同)、体操講習会、わくわく体操講習会、カウンセリング、子育てフォーラム、特別支援動作研修、絵画指導研修、給食施設協議会、アレルギー対応、保幼小中連携研修等を実施した。
- ・三田市内認可保育園所との保育士部会(学年別)行い、保育での悩み共有、保育方法の情報交換を行った。

(4)購入・修繕等

- ・防犯カメラ、調理室用冷蔵庫、床暖房用ボイラー取り換え、ホームページ整備

(5)異年齢交流・連携事業活動

- ・とらいやるウィーク2校、篠山鳳鳴高校体験保育、湊川短期大学1回生来園、附属短大生との交流、すずかけ台小学校との交流会、よこやま保育園との年長児交流会
保育士養成校の保育、実習生受け入れ等を実施した。

(6)園内研究(委員会)活動

- ・ひやりハット委員会、幼児保育会議、乳児保育会議、離乳食会議、給食委員、アレルギー児配食会議等を行った。
- ・睦保会副会長を1期務めた。
- ・湊川短大卒保育士が附属園勤務の卒業生と語る会に参加した。

3 財務の概要

学校法人 湊川相野学園

◇ 計算書類の読み方 ◇

学校会計の計算書類は、一会計期間における資金の収入及び支出の流れを明らかにする資金収支計算書、一会計期間の経営状態を明らかにした事業活動収支計算書及び、一定時点の財政状況を示した貸借対照表があります。

資金収支計算書は、その年度の教育・研究諸活動に対応する資金の使途（資金支出）とこれに対する資金の調達（資金収入）のすべてを明らかにしたものです。通常の研究教育に関わる収入・支出とともに、施設の建設や借入金等も含んだ全ての資金を伴う収入・支出が掲載されております。また、平成27年度より、活動区分資金収支計算書の作成が義務付けられました。活動区分は、教育活動・施設整備活動・その他の活動に区分され、学校にどういう収入がありこれをどう使っているか、また、資金繰りの健全性があるかを表しています。

事業活動収支計算では、教育活動収支と教育活動外収支及び特別収支に分かれております。教育活動における収支差額を教育収支差額といい、教育活動外収支までを含めた収支差額を経常収支差額といいます。さらに、特別収支差額も含めた収支差額が基本金組入前当年度収支差額となります。これらは、バランスの均衡状態を明らかにすることと、経営成績を明示することを目的としています。もし、このバランスがとれず支出超過（赤字）ということになれば、健全な財政状態とはいえません。赤字解消に努力しなければ、教育・研究活動に支障をきたすことになりかねません。

貸借対照表は通常の企業会計とは異なり固定性配列法で表示しております。固定性配列法とは、配列を資産・負債の換金性の面からとらえ、換金性が低い、すなわち固定性の高い項目の順に並べる方法です。この配列法は公益事業、鉱山業など固定資産の比重の高い企業の設備資金の分析に有用であるとされています。

基本金組入れは、学校がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持することを要求されていることから、基本金対象資産として定められた資産相当額は、明確に区分し、消費支出に充てるべきでないという学校法人会計の基本的な考え方に基づく会計処理です。

今回の会計基準の改正では、以前のように、帰属収入から基本金組入額を控除して消費収入を算出するのではなく、基本金組入前当年度収支差額がわかりやすい計算方式となっています。

なお、基本金および基本金の対象となる資産は、具体的に次のものをいいます。

① 第1号基本金

施設・設備などの固定資産（図書を含む）の取得額

② 第2号基本金

将来の施設取得等のために収受した寄付金等を、あらかじめ計画的に積み立てる金銭等資産の額

③ 第3号基本金

奨学金等の基金として保持し運用する金銭等資産の額

④ 第4号基本金

恒常的に保持すべき資金（消費支出の1カ月分）

以上のように、基本金には、必ず対応する資産がありますが、基本金自体は何らの資産ではありません。基本金は、学校が継続して維持すべき資産を概念的に金額で表した規模ということになります。

資金収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,355,826	1,356,758	△ 932	学生生徒等納付金収入	1,109,206	1,089,217	19,988
教育研究経費支出	356,420	383,912	△ 27,491	手数料収入	45,658	45,848	△ 190
管理経費支出	278,575	279,019	△ 444	寄付金収入	15,249	17,737	△ 2,487
借入金等利息支出	750	750	0	補助金収入	1,465,169	1,485,307	△ 20,138
施設関係支出	1,316,697	1,322,032	△ 5,335	資産運用収入	38,009	42,855	△ 4,846
設備関係支出	72,352	76,725	△ 4,373	資産売却収入	903,430	1,154,630	△ 251,200
資産運用支出	652,730	917,978	△ 265,248	事業収入	86,140	88,802	△ 2,662
その他の支出	341,155	394,625	△ 53,469	雑収入	57,830	60,245	△ 2,415
予備費	0	0	0	借入金等収入	200,000	200,000	0
資金支出調整勘定	△ 41,063	△ 136,923	95,860	前受金収入	232,707	250,674	△ 17,967
次年度繰越支払資金	1,462,411	1,510,409	△ 47,998	その他の収入	651,668	717,643	△ 65,975
				資金収入調整勘定	△ 712,083	△ 750,545	38,461
				前年度繰越支払資金	1,702,870	1,702,870	0
支出の部合計	5,795,853	6,105,283	△ 309,430	収入の部合計	5,795,853	6,105,283	△ 309,430

事業活動収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位 千円)

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
人件費	1,355,826	1,355,790	36	学生生徒等納付金	1,109,206	1,089,217	19,988
教育研究経費	503,534	525,999	△ 22,465	手数料	45,658	45,848	△ 190
管理経費	297,164	293,881	3,282	寄付金	15,249	5,570	9,679
徴収不能引当金繰入額	0	31	△ 31	補助金	1,021,482	1,050,582	△ 29,100
				事業収入	86,140	88,802	△ 2,662
				雑収入	57,830	60,245	△ 2,415
教育活動収支差額	179,041	164,563	14,478				
借入金等利息	750	750	0	受取利息・配当金	38,009	42,855	△ 4,846
その他の教育活動外収	0	0	0	その他の教育活動外収	0	0	0
教育活動外収支差額	37,259	42,105	△ 4,846				
資産処分差額	140,537	153,107	△ 12,570	資産処分差額	166	166	0
その他の特別支出	0	0	0	その他の特別収入	443,687	449,688	△ 6,001
特別収支差額	303,316	296,746	6,569				
支出の部合計	2,817,427	2,832,973	△ 15,546	収入の部合計	2,373,574	2,383,119	△ 9,545
予備費	0	0	0				
基本金組入前等年度収支差額	519,616	503,414	16,202				
基本金組入額合計	△ 1,188,600	△ 583,282	△ 605,318				
当年度収支差額	△ 668,984	△ 79,868	△ 589,117				
前年度繰越消費収入超過額	514,176	514,176	0				
基本金取崩額	0	93,476	△ 93,476				
翌年度繰越消費収入超過額	△ 154,808	527,784	△ 682,592				

貸借対照表

平成29年3月31日

(単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	8,170,569	7,715,560	455,009
(1)有形固定資産	5,654,476	4,570,342	1,084,133
(2)その他の固定資産	2,516,093	3,145,218	△ 629,125
流動資産	2,011,934	1,773,902	238,032
合計	10,182,503	9,489,462	693,041
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	542,036	351,394	190,642
流動負債	417,296	418,310	△ 1,015
第1号基本金	8,522,388	8,063,010	459,378
第4号基本金	173,000	142,572	30,428
消費収支差額	527,784	514,176	13,608
合計	10,182,503	9,489,462	693,041

活動区分資金収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位 千円)

教育活動による資金収支	
項目	金額
教育活動資金収入計	2,340,265
教育活動資金支出計	2,019,689
差引	320,576
調整勘定等	△ 493
教育活動資金収支差額	320,084
施設整備等活動による資金収支	
項目	金額
施設整備等活動資金収入計	846,891
施設整備等活動資金支出計	1,412,747
差引	△ 565,855
調整勘定等	△ 452,049
施設設備等活動資金収支差額	△ 1,017,904
その他活動による資金収支	
項目	金額
その他活動資金収入計	1,648,491
その他活動資金支出計	1,143,131
差引	505,360
調整勘定等	0
施設設備等活動資金収支差額	505,360
支払資金の増減額	△ 192,461
前年度繰越支払資金	1,702,870
翌年度繰越支払資金	1,510,409

過去三ヵ年の財務の推移表

単位 千円

消費収支計算書	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	短大339名 高校1,049名 幼稚園991名 保育所79名								
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金	1,107,275	43.6%							
手数料	43,813	1.7%							
寄付金	12,463	0.5%							
補助金	902,883	35.5%							
資産運用収入	81,414	3.2%							
資産売却差額	158,686	6.2%							
事業収入	95,862	3.8%							
雑収入	138,911	5.5%							
帰属収入合計	2,541,306	100.0%							
基本金組入額合計	△202,368	-8.0%							
消費収入合計	2,338,938	92.0%							
人件費	1,305,910	51.4%							
(教育研究経費支出)	307,501	12.1%							
(奨学費支出)	52,486	2.1%							
(減価償却額)	132,518	5.2%							
教育研究経費 合計	492,505	19.4%							
(管理経費支出)	231,197	9.1%							
(減価償却額)	19,662	0.8%							
管理経費 合計	250,859	9.9%							
借入金等利息	282	0.0%							
資産処分差額	161,222	116.1%							
徴収不能引当金繰入額	0	0.0%							
消費支出合計	2,210,778	87.0%							
当年度消費収入超過額	128,159								
前年度繰越消費収入超過額	375,841								
基本金取崩額	0								
翌年度繰越消費収入(支出)超過額	504,001								

単位 千円

資金収支計算書	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金収入	1,107,275	20.8%		1,035,211	20.0%		1,089,217	17.8%	
手数料収入	43,813	0.8%		46,779	0.9%		45,848	0.8%	
寄付金収入	9,256	0.2%		11,176	0.2%		17,737	0.3%	
補助金収入	902,883	17.0%		938,151	18.1%		1,485,307	24.3%	
資産運用収入	81,414	1.5%		50,076	1.0%		42,855	0.7%	
資産売却収入	460,941	8.7%		599,800	11.6%		1,154,630	18.9%	
事業収入	95,862	1.8%		81,088	1.6%		88,802	1.5%	
雑収入	138,911	2.6%		77,628	1.5%		60,245	1.0%	
借入金等収入	150,000	2.8%		0	0.0%		200,000	3.3%	
前受金収入	228,781	4.3%		257,707	5.0%		250,674	4.1%	
その他の収入	492,275	9.2%		565,003	10.9%		717,643	11.8%	
資金収入調整勘定	△539,717	-10.1%		△295,449	-5.7%		△750,545	-12.3%	
前年度繰越支払資金	2,151,734	40.4%		1,812,880	35.0%		1,702,870	27.9%	
資金収入合計	5,323,429	100.0%		5,180,051	100.0%		6,105,283	100.0%	
人件費	1,312,245	24.7%		1,293,502	25.0%		1,356,758	22.2%	
教育研究経費支出	357,889	6.7%		478,123	9.2%		383,912	6.3%	
管理経費支出	231,197	4.3%		352,328	6.8%		279,019	4.6%	
借入金等利息支出	282	0.0%		750	0.0%		750	0.0%	
借入金等返済支出	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
施設関係支出	543,707	10.2%		272,758	5.3%		1,322,032	21.7%	
設備関係支出	51,906	1.0%		26,359	0.5%		76,725	1.3%	
資産運用支出	661,445	12.4%		779,361	15.0%		917,978	15.0%	
その他の支出	494,709	9.3%		424,025	8.2%		394,625	6.5%	
資金支出調整勘定	△142,831	-2.7%		△150,025	-2.9%		△136,923	-2.2%	
次年度繰越支払資金	1,812,880	34.1%		1,702,870	32.9%		1,510,409	24.7%	
資金支出合計	5,323,429	100.0%		5,180,051	100.0%		6,105,283	100.0%	

過去三年の財務の推移表②

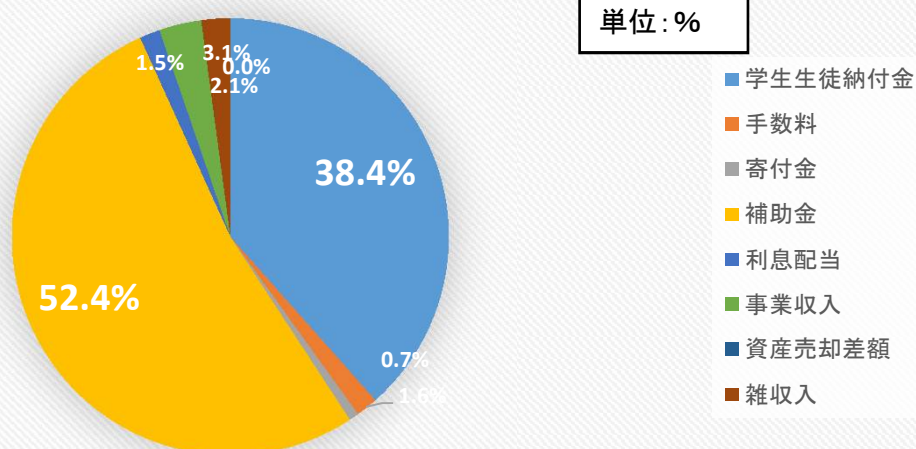
単位 千円

事業活動収支計算書	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	短大327名 高校1,108名 幼稚園955名 保育所80名			短大343名 高校1,169名 幼稚園933名 保育所79名					
大科目	金額	比率	備考	金額	比率	備考	金額	比率	備考
学生生徒納付金	1,035,211	47.2%		1,089,217	46.5%				
手数料	46,779	2.1%		45,848	2.0%				
寄付金	14,152	0.6%		5,570	0.2%				
補助金	938,866	42.8%		1,050,582	44.9%				
資産運用収入	0	0.0%		0	0.0%				
資産売却差額	0	0.0%		0	0.0%				
事業収入	81,088	3.7%		88,802	3.8%				
雑収入	77,628	3.5%		60,245	2.6%				
教育活動収入計	2,193,726	100.0%		2,340,265	100.0%				
人件費	1,291,635	58.9%		1,355,790	57.9%				
(教育研究経費支出)	425,031	19.4%		339,545	14.5%				
(奨学費支出)	53,091	2.4%		44,366	1.9%				
(減価償却額)	139,887	6.4%		142,088	6.1%				
教育研究経費 合計	618,010	28.2%		525,999	22.5%				
(管理経費支出)	352,328	16.1%		279,019	11.9%				
(減価償却額)	18,678	0.9%		14,862	0.6%				
管理経費 合計	371,006	16.9%		293,881	12.6%				
徴収不能引当金繰入額	0	0.0%		31	0.0%				
教育活動支出計	2,280,652	104.0%		2,175,701	93.0%				
教育活動収支差額	△86,926	-4.0%		164,563	7.0%				
受取利息・配当金	50,076	2.3%		42,855	1.8%				
その他の教育活動外収入	0	0.0%		0	0.0%				
教育活動外収入計	50,076	2.3%		42,855	1.8%				
借入金等利息	750	0.0%		750	0.0%				
その他の教育活動外支出	0	0.0%		0	0.0%				
教育活動外支出計	750	0.0%		750	0.0%				
教育活動外収支差額	49,326	2.2%		42,105	1.8%				
経常収支差額	△37,600	-1.7%		206,668	8.8%				
資産売却差額	0	0.0%		166	0.0%				
その他の特別収入	0	0.0%		449,688	19.2%				
特別収入計	0	0.0%		449,854	19.2%				
資産処分差額	97,679	4.5%		153,107	6.5%				
その他の特別支出	715	0.0%		0	0.0%				
特別支出計	98,394	4.5%		153,107	6.5%				
特別収支差額	△98,394	-4.5%		296,746	12.7%				
基本金組入前当年度収支差額	△135,994	-6.2%		503,414	21.5%				
基本金組入額合計	△93,664	-4.3%		△583,282	-24.9%				
当年度収支差額	△229,658	-10.5%		△79,868	-3.4%				
前年度繰越収支差額	504,001			514,176					
基本金取崩額	239,833			93,476					
翌年度繰越収支差額	514,176			527,784					

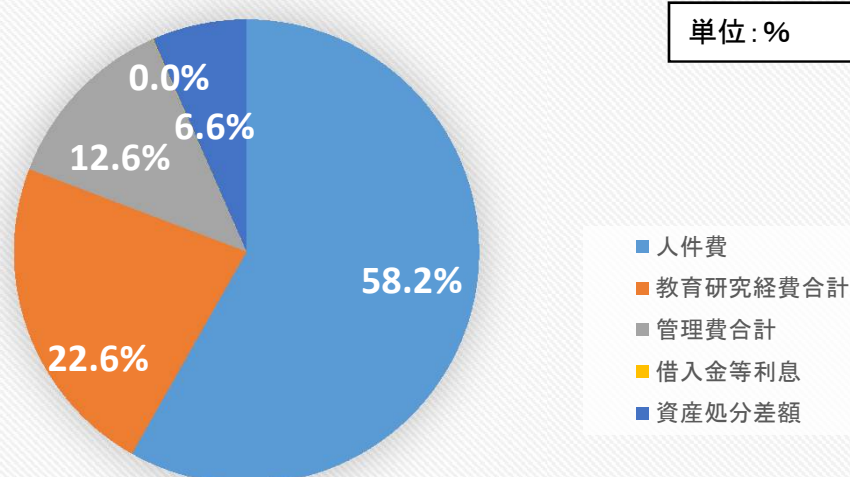
※各比率は教育活動収入に対する比率。

平成28年度決算報告グラフ他分析資料

平成28年度 事業活動収入の構成比

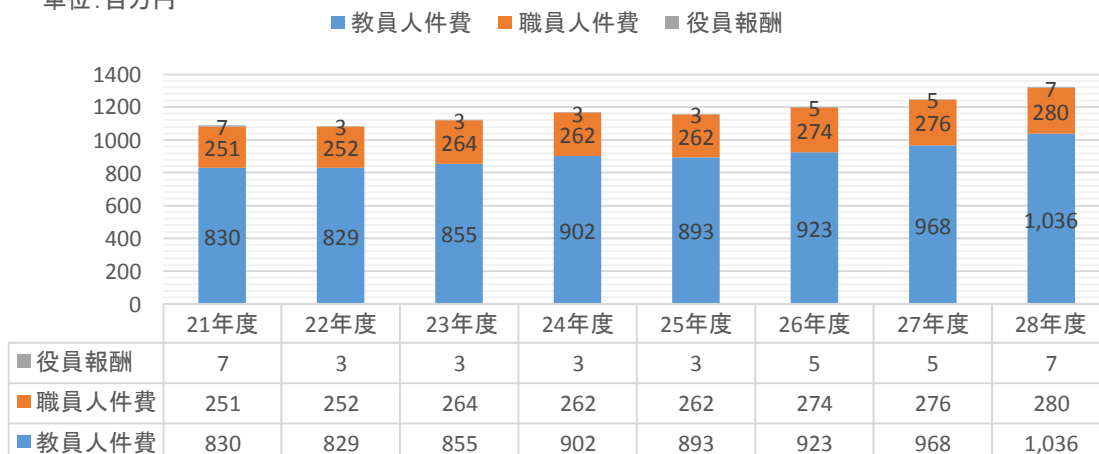


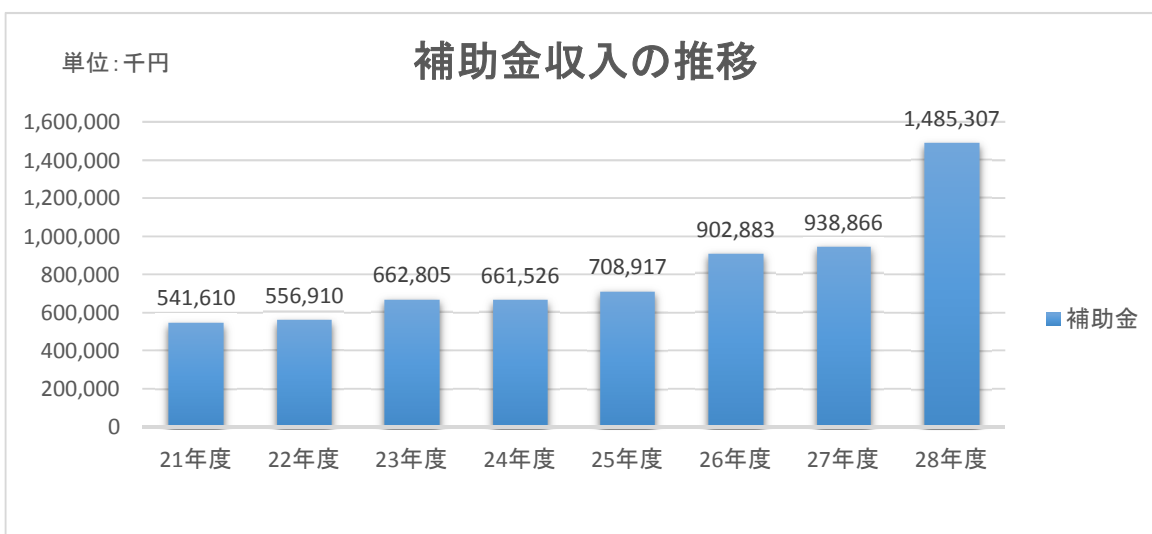
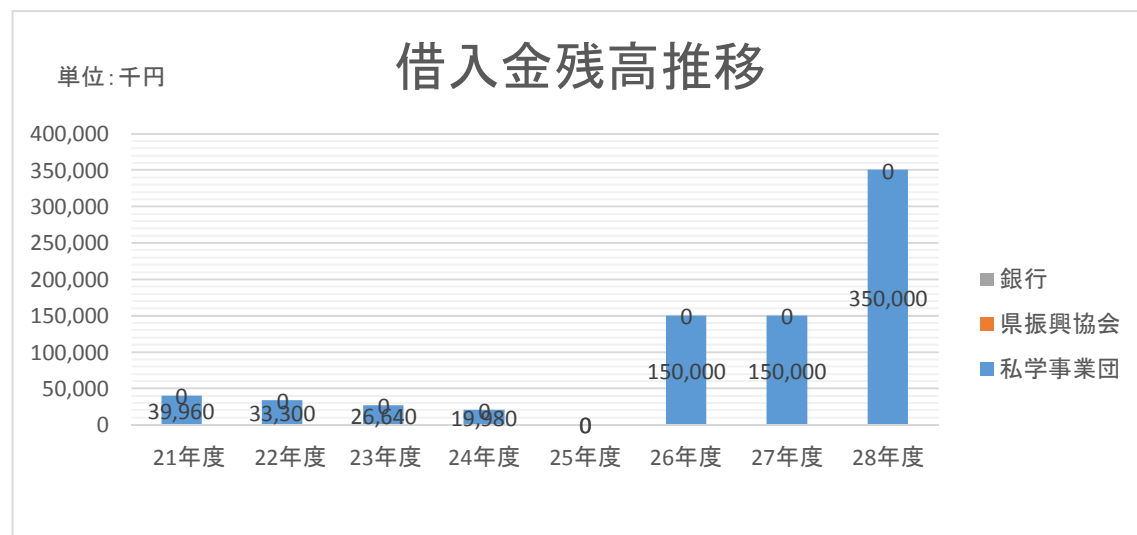
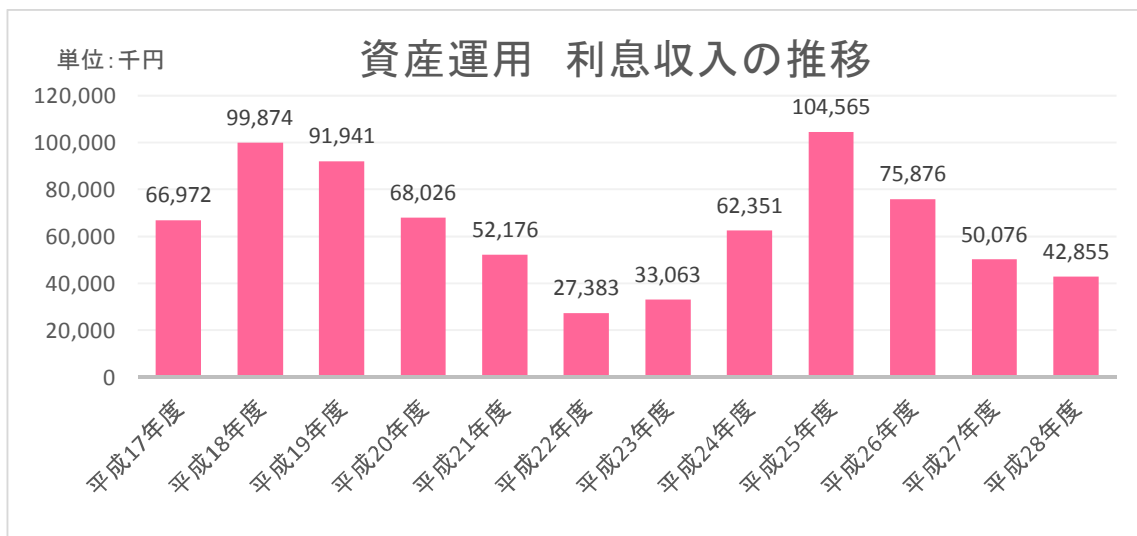
平成28年度 事業活動支出構成比率



人件費(消費支出)の推移

単位：百万円

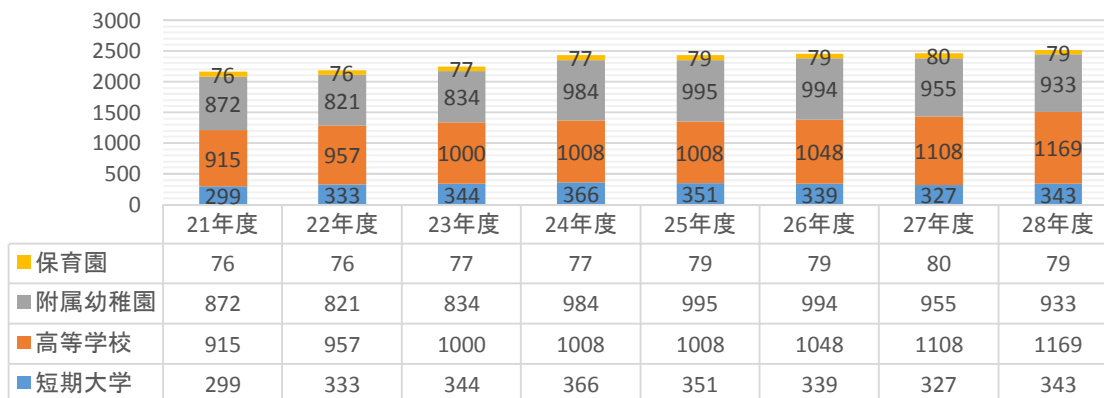




学生数の推移

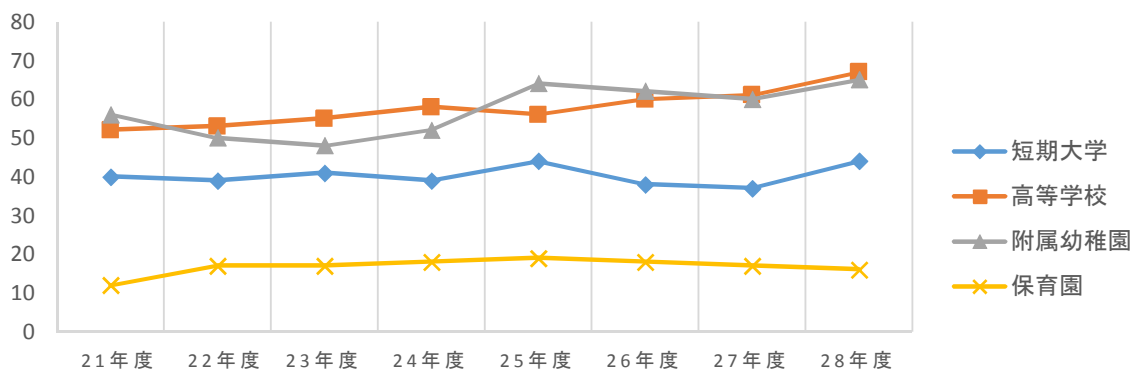
単位:人

■ 短期大学 ■ 高等学校 ■ 附属幼稚園 ■ 保育園



教職員の推移

単位:人



◆◆主要財務諸表の比較表◆◆

単位: %

比率	算式(×100)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
人件費比率	人件費÷帰属収入	60.7	56.9	51.4	48.1
人件費依存率	人件費÷学生生徒等納付金	110.3	114.0	117.9	124.5
教育研究経費支出率	教育研究費÷帰属収入	20.0	20.8	19.4	18.6
管理経費支出率	管理経費÷帰属収入	12.1	10.1	9.9	10.4
消費支出比率	消費支出÷帰属収入	92.9	88.1	87.0	82.2

※平成27年度より帰属収入に代わり事業活動収入

※平成27年度より消費支出に代わり事業活動支出

平成29年5月22日

監 査 報 告 書

学校法人 湊川相野学園
理事長 浅井 祐子 殿

学校法人 湊川相野学園

監 事 下 山 隆 一 郎

監 事 木 寅 文 雄

私たちは、学校法人湊川相野学園の監事として、私立学校法第37条3項に基づいて同学園の平成28年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）における計算書類（資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表並びに附属明細表）及び学園の業務執行状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは学校法人湊川相野学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、事業報告書、財算目録及び計算書類は会計諸帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人湊川相野学園の業務又は財産に関し不正の行為又は法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。